

## 授業改善プラン（第1学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章に沿って読み取る力が身についていない。</li> <li>全体の発表の場で前を向いて話せる児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章のどこに書かれているか、根拠を話すことを繰り返し指導する。</li> <li>発表メモを推敲し、繰り返し体験することで、自信をつけさせる。</li> <li>朝の会の時間を利用してスピーチ活動を行い、自信をつけさせる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>計算に意欲的に学習する。しかし、文章題において、何がわかつていて何を求めればよいかの読み取りができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題に多く取り組ませる。その中で、「わかっていること」「求めるここと（聞かれていること）」のキーワードを探すことに慣れさせる。繰り返し指導する。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察する視点が見たこと、したことに偏りがちである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「触ってみたこと」「におい」「不思議に思ったこと」「これからどうなっていくかの予想」など、五感を働かせ具体的な記入の仕方を例示し、良い書き方を取り上げて全体へ示していく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌うことが大好きである。怒鳴ったり乱暴な声で歌ったりしてしまうことが見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌声だけでなく、話し声も含め、「きれいな声」に気付かせる場面を多くつくる。</li> <li>曲に合った歌声の手本を示し、「やさしく」「げんきよく」「ちいさく」など歌い方のキーワードを示し、指導していく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動の内容を理解できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見本や活動の手順を提示して、活動の段階が、視覚的に分かりやすくする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝敗にこだわる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勝った友達に自発的に拍手する児童などを、負けた悔しい気持ちに共感しながら、その態度を褒めることを繰り返して行う。</li> <li>楽しく活動できたか、毎時間振り返りの時間をもち次時への意欲へとつなげていく。</li> </ul>
日常での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の話を聞くときと自分たちが話すときの区別が難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今は自分が話していい時か、聞くときかを常に確認し、児童に答えさせる。</li> <li>説明の内容を、後で問い合わせ、説明させる場面を多く設定する。</li> </ul>